

新型コロナウイルス感染の判明について 第1報

7月11日（土曜）

当院の職員1名（中6病棟看護師）が新型コロナウイルスに感染していることが判明いたしました。

7月9日に同居家族がPCR陽性となり、当該職員は濃厚接触者として自宅での健康観察を開始しました。当日、自宅においてPCR検査実施、IgM迅速抗体検査は陰性でした。

7月10日に発熱があり、足立保健所に報告しました。

7月11日入院となり、PCR陽性が判明しました。

当該職員は7月7日より勤務しておりません。従って、発症前3日間での濃厚接触者はいません。発症4日前の濃厚接触者1名は自宅にて健康観察を行い、同居者1名と共にPCR検査を実施しています。

現時点で、中6病棟の職員と入院患者様全員に発熱などの感染を疑う症状は認められておりません。

その他、当院では以下の対応を行っています。

7月9日より所属職員以外の中6病棟への出入りを禁止としました。また、病棟の職員と入院患者様全員の健康観察を強化し、中6病棟はもとより病院全体の感染防御策を徹底しています。

7月10日および11日に、中6病棟職員全員のPCR検査を実施しました。

7月13日および14日に、中6病棟入院患者様全員のPCRを予定しています。

病院全体の日頃からの感染実施対策状況を鑑みまして、現時点では外来診療および精神科救急医療への影響はないと判断し、継続してまいります。

皆様には大変なご心配をおかけしております。感染拡大防止に職員全員で努めてまいりますので、何卒ご理解を頂けますよう、よろしくお願い申し上げます。

東京足立病院 院長